

あきたへ、あなたも、あしたから

Aターン情報誌 あきた日和

AKITA BIYORI
vol. 56 2012. 冬号



Aターン インタビュー

秋田液酸工業株式会社 正木 友人さん

Aターン者採用企業の紹介
秋田液酸工業株式会社

「人事担当者に聞きました!!」
求人企業アンケート

あきた ア・ラ・カルト ————— あきた結婚支援センター
Aターンから結婚へ…秋田で家族をつくりたい!

information
Aターンインフォメーション



財団法人 秋田県ふるさと定住機構



A TURN Interview

Aターン・インタビュー

秋田液酸工業株式会社
製造機器運転管理・保守担当
正木 友人さん 横手市出身
昭和59年生まれ 28歳

秋田に帰って取り戻した 仕事と暮らしの 心地よいバランス。

正木友人さんは、秋田工業高等専門学校物質工学科卒業後、千葉県にある石油精製会社に就職。精製プラントのオペレーターとして7年間働きました。同世代の仲間、いろんな土地から集まった人々との出会いはそれなりに刺激的でしたが、仕事は忙しく会社と寮を往復するだけの毎日だったといいます。

「休日はからだを休めるだけで精一杯。もっと上の資格を取ることを目指しながらも、そんな自分の5年、10年後の姿が思い描けなかったんです。そのうち、実家で過ごすお盆や正月、友人達との時間が一番落ち着けると感じるようになりました。いつかは秋田に帰

りたい」とAターン登録をしたのは4年前。無理や妥協はしたくないので、自分を一番生かせる職場、将来の見える仕事をあせらずじっくり探しました。そして見つけたのが液化酸素・窒素の製造を手がける現職の求人です。」

2年をかけたAターン。

秋田液酸工業株式会社は、液化酸素、液化窒素などの産業用ガスを製造する県内唯一の企業です。正木さんは、その仕事に必要な高圧ガス製造保安責任者(乙種化学)の資格もあり、高専時代の寮生活で住み慣れた街に会社があることも安心材料となりました。



「面接では、自分の協調性をアピールしました。前職では、さまざまな世代の人と一緒に働くことで協調性を学び、ハンドボールや野球の経験を通じてチームワークも養ってきたので、その経験がこの会社でも生かせると思いました。また、業務全般に精通するためには、さらに上の国家資格が必要だったので、仕事を覚えながら資格取得にもぜひ挑戦したいと伝えました。」

取り戻した充実感。

面接から半年後、昨年4月からの採用となりましたが、おりしも東日本大震災の直後。被災地に送る医療用液体酸素の生産に追われる現場で、正木さんは迷う暇も

なく仕事を覚えていきます。

「会社はとてもアットホームな雰囲気です。思ったより早くなじむことができました。以前の会社と比べると余裕のある勤務シフトなのでプライベートの時間もかなり充実しています。会社の近くのアパートで念願のひとり暮らしを始め、休日は気軽に実家に帰ったり、友だちに会って過ごします。上司の誘いで始めた朝野球も楽しみです。それに、学生時代から趣味の料理も腕が上がりましたよ。毎日弁当を作り、誘われた時以外はあまり外食もしませんね。ビーフシチューなんかもちろんソースから作るんですよ。秋田は水道の水がおいしく飲めるし、いい食材がたくさんあるからますますレパートリーが広がりそうです。」

秋田暮らしの楽しみが 仕事のエネルギーに。

こうした“秋田暮らし”の楽しみは、正木さんの仕事に好影響をもたらしました。キャリアアップだけが目標だった千葉では得られなかった充実感を秋田で手に入れ、それが仕事や将来に向かう力に



これまでの無事故記録はおよそ34年！これは、将来も守り続けたい会社の誇り。

なったようです。収入やキャリアばかりにとらわれず、意欲的に取り組める仕事と、生活の楽しみを調和させるワーク・ライフ・バランス。これは、今後Aターンを目指す人たちにも、ぜひ考慮してほしいポイントだといいます。

「以前は仕事一辺倒で、生活を楽しむ実感が持てなかったんですね。秋田に帰って、のんびりした環境や家族や友人と過ごす休日、自分のための時間を大事にすることで、仕事に向き合うエネルギーもわいてきました。入社2年目の今年は、高圧ガス製造保安責任者のもうひとつ上の資格を取るのが第一目標。プライベートでは、もっとスポーツをする機会を増やし、からだを鍛えたいですね。」



液化ガスの製造は24時間稼働で、管理室での業務も1日3交代制。万が一の計器トラブルに備え、集中力が求められる仕事現場。

Aターン採用を語る



(左)常務取締役工場長 西野 正剛さん (右)工場長代理兼製造課長 押切 将美さん

正木さんを採用した理由を教えてください。

当社の社員の年齢層が上がってきたことから、新人を採用して技術の伝承に取り組もうと採用計画をスタートさせました。ある程度経験のある電気主任技術者、エネルギー管理士、高圧ガス製造保安責任者などの有資格者を採用条件として募集し、Aターンプラザから正木君の紹介を受けました。空気と石油と扱う原料は違いますが、高圧ガス製造保安責任者という資格とキャリアを持ち、化学プラントで実績を積んできた人材です。実際会ってみると、スポーツ経験で協調性やチームワークを養い、当社の求める協調性についても申し分ない人柄で、秋田に帰って経験を活かしたいという強い気持ちが伝わってきました。資格取得についても、とても意欲的で、即決といってもいいでしょうね。

正木さんに今後期待することは？

現在20代の社員は正木君ですが、すっかり年長の社員の中に溶け込んで、仕事も確実に身につけてきています。当社では来年度以降も新人の採用を計画しているので、将来も、ベテランと若手をつなぐパイプ役になってほしいですね。先輩達が蓄積してきた技術と実績の担い手としても最適な人材だと確信しています。また、現在の製造機器の運転管理と保守という業務内容に加え、彼が今日目指している資格を取得することで、仕事の幅はどんどん広がります。さまざまな技術と経験を蓄えて、万が一の事態が起きた時にも敏感に対応できる感性を育ててほしいですね。そして、製造プラント全体を統括し、さまざまな局面での確かな対処ができる技術者、あるいは監督者として成長してくれることを期待しています。



秋田液酸工業株式会社
産業ガス業界国内大手の日本酸素株式会社(現・大陽日酸株式会社/本社・東京)、株式会社相場商店(本社・秋田市)の共同出資で昭和49年に創立。工業用・医療用ガスを製造供給。県内唯一の産業用ガス製造企業。

秋田県唯一の産業ガス・医療ガスの製造・供給拠点

秋田液酸工業株式会社

昭和49年に設立された秋田県唯一の液化酸素、液化窒素、液化アルゴンなどの産業ガス・医療ガスの製造・供給拠点となる秋田液酸工業株式会社。高圧ガス製造業では、国内最大手の大陽日酸グループの一員として、秋田の拠点となっています。



会社概要

- ◎設立／昭和49年9月3日
昭和51年1月16日営業運転開始
- ◎資本金／5,710万円
- ◎所在地／本社 秋田市榑山登町1-20
工場 秋田市飯島字古道下川端217-9
秋田製錬株式会社構内
- ◎事業目的／酸素ガス・液化酸素・液化窒素及び液化アルゴンの製造
- ◎代表者／取締役社長 山口 美紀生
(大陽日酸株式会社 東北支社長)
- ◎株主／大陽日酸株式会社
東邦アセチレン株式会社
株式会社相場商店
岩谷産業株式会社
- ◎従業員／13名(平成23年8月1日)
- ◎工場敷地／4,251m²

沿革

- 昭和49年9月3日
日本酸素株式会社と株式会社相場商店の共同出資により秋田液酸工業株式会社設立
- 昭和51年1月16日
HGE6,000型空気分離装置営業運転開始
- 平成9年9月11日
MMG7,600型空気分離装置起工式
(需要増に対応すべく、新プラントを秋田製錬株式会社構内に建設)
- 平成10年5月1日
MMG7,600型空気分離装置営業運転開始
- 平成12年5月1日
ISO 9002取得
- 平成22年5月1日
ISO 9001:2008年版に移行登録



管理室



製造工場



出荷ヤード

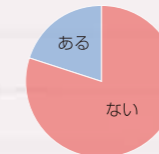
人事担当者に聞きました!!

求人企業アンケート

秋田県内企業の人事担当者の皆さまにアンケートにご協力いただきました。

Q1 直近3年間で、Aターン者を採用したことはありますか？

ある.....20%
ない.....80%



Q2 Aターン者を採用するうえで、もっとも重視するのは？

- 1位 経験・実務能力.....17%
- 2位 コミュニケーション能力・協調性.....14%
- 3位 やる気があるかどうか.....12%
- 4位 資格.....11%
- 5位 誠実さ・責任感.....10%

6位「マナー・礼儀作法」[年齢]、7位「一般常識」、8位「ストレス耐性」[明朗さ]「発想の豊かさ」と続きました。他に項目にあった「見た目の印象」、「出身学校・学部」[奉仕の精神]「優しさ」「社交性」はあまり重視されていないようです。

Q3 Aターン者を採用するメリットは？

- 1位 即戦力になる経験・能力.....65%
- 2位 県外で得た知識・技術.....17%
- 3位 行動力・やる気.....9%
- 4位 定着率.....7%

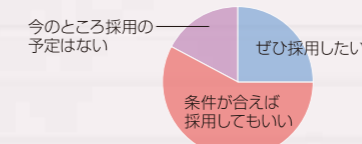
Q4 Aターン者を採用するうえで、心配なことは？

- 1位 県外企業との賃金・待遇の差.....55%
- 2位 長続きするかどうか.....37%
- 3位 就業できる時期.....7%

その他の中には、「期待通りの能力を發揮してくれるかどうか」、「基盤マーケット・人脈」という回答がありました。

Q5 今後、Aターン者を採用する予定はありますか？

- ぜひ採用したい.....25%
- 条件が合えば採用してもいい.....58%
- 今のところ採用の予定はない.....17%



Q6 御社に必要な人材とは？

- ◎創造力に富み、常に向上心を持ち続ける人(運輸業)
- ◎協調性があり周りとのコミュニケーションが取れる方。会社に甘えない方。(電子部品製造業)
- ◎営業、技術、協調性を兼ねた人材(建設業)
- ◎職種に関わらず、自ら考え自ら動くことができる人(電子部品製造業)
- ◎優しく責任感と協調性のある人(介護老人保健施設)
- ◎物事を柔軟に考え、どの業務についても一生懸命に働いていただける人。指示された事以外にやらなければいけないことを自分で考え、実行できる人(自動車販売業)
- ◎何事にも積極的に取り組み、自らのスキルアップに向け、チャレンジする人材。また、常に和の精神を基本とし、誠をもって他に接するとともに、絶えず新たな可能性に挑む人材(情報サービス業)

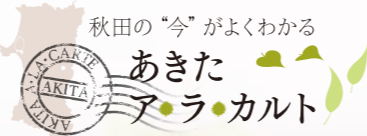


企業はAターン者に「経験・コミュニケーション能力・やる気」を求めているという結果になりました。ちなみに、経団連調査の「採用選考時に重視する要素」の第1位は7年連続で「コミュニケーション能力」が挙げられています。

一方で、Aターン者を採用するうえで、「県外企業との賃金、待遇の差」を心配している企業が数多く見られました。

秋田の賃金は東京の6割と言われていますが、住居費用や生活環境を考えると、必ずしも生活水準が下がるとは言えません。

自分の求めている生活、必要なものは何かをじっくりと考えたうえで、就職活動を行いましょう。



Aターンから結婚へ… 秋田で家族をつくりたい!

メルマガ会員約2000人! 県内最大の結婚支援ネットワーク
あきた結婚支援センターがお手伝い

あきた結婚支援センターは、大館市、秋田市、横手市の3カ所に設置され、独身男女の出会いをお手伝いしています。約2000人のメルマガ会員を対象に県内各地で出会いイベントが開催され、これまでに約600組以上のカップルが交際をスタートさせました。また、昨年4月から始まったマッチング(お見合い)事業には、865人の独身男女が会員登録。センターは、市町村、団体、企業、ボランティアなどとも連携し、一生のパートナーを見つけない男女をバックアップしています。

「あきたde結婚 秋田でHAPPY」を キャッチフレーズに すすめられているその活動とは?

あきた結婚支援センターって?

秋田県、各市町村などが共同で設立した任意団体です。主な事業は、それぞれの地域のすこやかあきた出会い応援隊(96団体加盟)が開催する年間約100回以上の出会いイベントの情報提供と、登録会員によるパートナー検索システムでのマッチング事業です。



私たちがバックアップします。

出会いイベントに参加するには?

メルマガ会員に登録(無料)すると各地のイベントなどの情報が定期的に届き、希望のイベントに参加することができます。出会いイベントは数人単位での食事会、10数人程度のバスツアー、100人前後のパーティーなど、地域ごと季節ごとにバラエティー豊か。Aターン者にもぴったりの出会いのチャンスになります。また、独身者のご家族を対象にした親の交流会も結婚の環境づくりをすすめるものとして好評です。



真剣に結婚相手を探したい!

そんな方には、マッチング(お見合い)会員の登録をおすすめします。事前予約は必要ですが、仕事帰りや土日でもOK。大館、秋田、横手のいずれかのセンターでご本人のデータを登録し、センター内の検索システム(氏名や職業、連絡先などは非公開)で希望のお相手を探することができます。お相手の承諾が得られればセンターで30分ほど会う機会を提供します。お互い気に入ったらコーディネーターを介して連絡を取り合い、直接交際をスタートしてください。
※入会登録料10,000円(登録日から3年間有効)。



最良のパートナーを見つけるコツは?

ステップ1: チャンスをつかむデータづくり
マッチングのために入力するデータは、ご本人のプロフィールや結婚相手に望む条件などです。お相手との条件さえ合えば幸せな結婚ができるとも限りません。お相手に望む条件はなるべく最低限にして、一番大切な人柄や相性は直接会って確かめましょう。それなら、お互い多少譲歩しても幸せな結婚に結びつけることができます。

ステップ2: メールだけ? 人まかせはNG
マッチングでせっかくいいお相手と出会っても、会うひまがないので電話より気軽なメール…といったおつきあいでは、一生のパートナーは決められません。お相手に好印象を与える身だしなみやマナーに配慮し、なるべく時間を作って、積極的に会い、誠意あるおつきあいをすることが、お互いの距離を縮める大きなポイントです。でも、迷ったり不安に思うことがあれば、結婚コーディネーターにご相談ください。最大限バックアップします。

くわしくは
ホームページ **すこやかあきた** 検索
お電話 ☎ **0800-800-0413**

秋田市(中央センター)
秋田市中通6-7-36(フォーラムアキタ1階) TEL: 018-874-9471
平日/9:00~21:00 土・日/9:00~18:00

横手市(南センター)
横手市四日町6-8 TEL: 0182-38-8801
平日/13:00~21:00 土・日/9:00~18:00

大館市(北センター)
大館市字中町5(旧正札竹村ビル2階) TEL: 0186-57-8611
平日/13:00~21:00 土・日/9:00~18:00
※記事中の構成団体・人員数、登録会員数は2011年12月末日現在のデータです。

企業ごと参加する会員団体も増加中!

“職場で出会いのチャンスがない” “仕事が忙しくてなかなか出会えない” そんな悩みを抱えた独身者も少なくありません。結婚支援センターでは現在、独身者の多い企業や地域団体が加盟する会員団体の拡大に力を入れています。現在57の会員団体が加盟し、会社同士の出会いイベント、企業間のコミュニケーションを深める異業種交流を通じて、福利厚生や社内の活性化、地域おこしにも役立てています。



登録者連絡用はがき

必要事項をご記入の上個人情報保護シールを記入欄の上に貼りご投函ください。

■住所変更連絡欄 (変更後の住所等を記入)

〒 _____

☎ _____

■封筒の種類 (どちらかに✓印)

白封筒 定住機構の名前入り封筒

Aターン希望登録内容を変更したい場合や求人情報などの資料請求、または情報誌へのご意見・ご要望、今後取り上げて欲しい事項等ございましたら、お気軽にお寄せください。

氏 名 _____ 登録番号 _____

生年月日 昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

登録住所 〒 _____

☎ _____